

緑のセンターだより

No.259 令和2年10月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

キウイフルーツ

マタタビ科 マタタビ属 *Actinidia chinensis* Planch. 黄色・赤色系
Actinidia deliciosa 緑色系
 別名 シナサルナシ、オニマタタビ、チャイニーズグースベリー

毛深い茶褐色の果実を实らせ、キウイともキウイフルーツとも呼ばれる果物で、原産地の中国南部から1906年にニュージーランドに導入され、果樹として品種改良が行われたものです。名の由来はニュージーランドに生息する翼のない国鳥キーウィに似ているところから付けられ、珍鳥ならぬ珍果といえます。

我が国へは1964年(昭和39年)に初輸入されて以来急速に消費が伸び、6～10月はニュージーランド産、12月に入るとアメリカ産と国内産が店頭に並ぶため、季節を問わず購入することができます。キウイの栄養価であるビタミンCはミカンの2.5倍、リンゴの20倍であり、肉を柔らかくする消化酵素も含んでいるため肉料理に使用すると良いと言われています。



キウイは雌雄異株の種類でニュージーランドには数十品種ありますが、日本で広く栽培されている品種は、雌品種ではアボット、アリソン、ブルーノ、ハイワード、モンティの5品種があり、ハイワードが多く栽培されています。

雄品種にマツア、トムリがあり、いずれもわが国に導入されています。果樹園では10a当たり標準33本(雄1本に対し雌5～8本)混植しているそうです。

整枝・結実管理では主枝を2本に分け、主枝の両側に50cmずつ交互にずらせて亜主枝を仕立て枝が込み合わない程度に仕立てます。整枝は不要な徒長枝を新芽が柔らかいうちに芽掻きして取り除き、6～9月に2～3回誘引し、過密にならないよう整理します。(剪定はブドウに準じる)

花数が多いと樹体中の栄養分を消耗するので、蕾のうちに3分の1程度の花数に減らしておくのが理想です。開花期にミツバチやアブなどの飛来が多ければ受粉の必要はありませんが、飛来が少なかったり、天候不順で昆虫類の飛来が思わしくない時は人工授粉を行う方が安全です。

果実の大きさや品質を良くするためには仕上げ摘果をして、1結果枝当たり、強い枝で3果、中くらいの枝で2果、弱い枝なら1果くらいの密度で結実させるのが大体の目安です。



キウイの雄花(左)と雌花(右)

皆さんも植えてから2～3年で収穫出来ますので、雄、雌対で購入して楽しみませんか。

参考文献 「園芸大百科事典」：講談社、「園芸植物大事典」：小学館、
 「原色園芸植物大図鑑」：北隆館

10月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 (月祝日の場合は受付、翌平日に休み)
 ☆百合が原公園 772-3511 毎週 木、日
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 毎週 水、土

		作 業 時 期			作業内容
		上旬	中旬	下旬	
屋外園芸	庭木	剪定			全般：カエデ類、カンバ類の落葉樹。中旬以降：ボタン
	花木	移植			ボタン、フジなど
	果樹	収穫			リンゴ・ブドウ・ナシなど
	野菜	収穫			越冬野菜を残し、ほとんど終わり。清掃後、翌年のために堆肥を入れ深耕しておく。
		鉢上げ			パセリ、ミツバ等は鉢やプランターに植替え、室内に入れて利用する。
	花壇	球根植え			スイセン、クロッカス、ヒヤシンス、チューリップなどの秋植え球根の植付け。
		球根堀上			ダリア、カンナ、グラジオラス等。地上部が枯れてきたら掘り上げる。
		株分け			宿根カスミソウ、宿根フロックス、ギボウシ、アスチルベ、キキョウ等。
		鉢上げ			越冬しないインパチェンス、ペチュニア、ベゴニア類等を鉢上げし、入室
	芝生	刈込み			伸びすぎたら4～5cm位に高刈りにする。
		清掃			雑草や落ち葉清掃をし、積雪に備える。
室内園芸	鉢花	入室			植物の耐寒温度に合わせて順次入室。アザレア、ツバキ、サザンカ、ウメ等は低温のところに置く。
		短日処理			基本は17時～朝8時まで暗くする。ポインセチアは夜間の人工光線も避け、隙間のない箱をかぶせる等工夫し、60日以上苞葉が色づき始めるまで続ける。
	洋ラン	施肥			デンドロビウム・ノビル系は霜が降る前に室内に入れ、明るい窓辺に置く。花芽形成促進の為、朝方13℃以下霜にあたらない程度の温度に20回程合わせる。
	多肉植物	植替え			冬型種（アエオニウム、メセン類）の植替え
		短日処理			ジャコバサボテン、カランコエ等、17時～朝8時まで暗くする(約25～30日)。クジャクサボテンは下旬から灌水を控えて5～8℃で休眠させる。
	観葉植物	施肥			屋外に出してある鉢は上旬までに追肥する。(カリ肥料を中心に)
		灌水			鉢土が乾いたら、2～3回に分けて底から出るまでたっぷり与える。受皿の水は捨てる
		病害虫防除			屋外の鉢を入室する前に病害虫防除を行う。
		置き場所			外からの入室時は温度順化をさせる。一部の種類を除き、春まで暖かい室内のできるだけ明るいところに置く。アジアンタムやポトス等陰性の種類は直射日光を避ける。オモトは春まで5℃前後の低温に置く。



Q 自宅の家庭菜園では、毎年同じ作物を同じ場所に植えがちで、最近ではキュウリなど野菜に病害虫が発生しやすくなっています。作物の収穫後に畑を起こすと病気が出にくく、元気に育つと聞いたのですが、どのような効果やメリットがありますか？(厚別区 TKさん)

A 連作障害は、同じ場所で同じ野菜または同じ科に属する野菜をつくることによって発生しやすくなります。理由は、野菜が必要とする栄養分は野菜によって異なり、その野菜が必要とする栄養分だけが吸収されるので、同じ場所で同じ野菜を作り続けると土壌中の養分バランスが崩れて野菜の育ちが悪くなり、さらに、土壌中に棲む微生物のバランスも崩れて病害虫が発生しやすくなります。

これを防ぐ方法の一つとしてダイコンなどを収穫した後の晩秋に土を深く起こす方法があります。これをすると、掘り起こされた土の塊が寒さのために凍ったり解けたりして、細かく隙間の多い柔らかい土になり、また、地中にいる害虫の卵や幼虫などが死滅することによって、野菜の根に優しい土になります。さらに、掘り起こされた土が太陽の紫外線にさらされることで病原菌が死滅し、土壌中の菌密度を下げることに役立ちます。

具体的には、10月下旬～11月上旬に1㎡当たり約2kgの堆肥をまいたところに、スコップで深さ30～40cm掘り起こしてください。

展示会・開花情報（2020年10月～11月）

秋の風景



百合が原公園

〒002-8082

北区百合が原公園 210

TEL. 011-772-3511

JR 学園都市線

「百合が原」駅下車

徒歩7～10分



夕暮れも早まり、朝夕の寒暖の差もはっきりと感じられるようになったこの時期、約 430 m²もの広さのダリア園のほか、園内を周遊するリリートレイン沿線では約 150 種類ものダリアを楽しめます（10月中旬まで）。このほか駅舎前では、オレンジ色のキバナコスモスが見頃を迎え、秋風に揺れるオレンジ色が一面に広がります。

※10月～11月3日（火祝）の期間に限り、「世界の庭園」は無料開放。

（通常高校生以上 130 円）

なお、11/3をもって「世界の庭園」営業終了

「展示会情報」

- ・秋のサルビア展～鮮やかな秋の装い～
開催中～11/8（日）
- ・ダリア展～色とりどりのダリアを紹介～
開催中～10/4（日）
- ・秋の洋ラン展～豪華絢爛！愛好家によるランの展示～
10/6（火）～10/11（日）※最終日は 15：00 まで



紅葉が始まります

徐々に紅葉が始まった園内では芝生広場のイチョウや池周辺の樹々が見頃となっています。時々エゾリスの姿を見かけることもありますよ。是非秋の散策にお越しください。



「展示会情報」

- ・盆栽展
10/9（金）～10/11（日）※最終日 15：00 まで

※新型コロナウィルスのため中止となる展示会がございます。予めご了承ください。



是非ご一見を！ノムラモミジ並木

10月の中旬頃より、平岡樹芸センターは1年で最も素晴らしい時期を迎えます。

駐車場からすぐ始まるノムラモミジ並木は一直線に 150m以上続き、紅葉を存分に楽しむことができます。

また、10/17（土）より園内にはキッチンカーや、樹木クイズを楽しめるオリエンテーリングなどイベントがいっぱい。ぜひ、ご家族で秋を満喫しにいらしてください。



平岡樹芸センター （みどりーむ）

〒004-0874

清田区平岡4条3丁目

TEL. 011-883-2891

地下鉄東西線

「大谷地駅」から

中央バス（大 69）

→「平岡4条2丁目」下車

徒歩1分

イベント情報（10～11月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568

<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
果樹の整枝・剪定	10月11日(日)	10:00～	200円	20名	申込受付中
フジ・ブドウの整枝・剪定	10月11日(日)	13:30～	200円	20名	
洋ランの冬の管理	11月14日(土)	13:30～	200円	20名	10/11(日)～
【園内自然観察会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
秋の観察会	10月17日(土)	10:00～	200円	15名	10/11(日)～
【バラつくり実践講座】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
③バラの越冬と植え床作り	10月18日(日)	10:00～	500円	20名	10/11(日)～
【あけび工房講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
札幌産あけびで作るツリー	10月28日(水)	10:00～	3,300円	15名	10/11(日)～
【イベント】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
コチョウランの植替えサービスデー ※要予約(1時間につき2名まで)	11月7日(土)	9:00～16:00	教材費実費	12名	10/11(日)～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511

<https://yuri-park.jp/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
樹木の雪囲い	10月10日(土)	10:30～12:00	330円	10名	申込受付中
洋ランの育て方	10月10日(土)	13:00～14:30	130円	10名	
バラの基礎講座④「バラの冬囲い」	10月11日(日)	13:30～15:30	500円	12名	
【イベント】	開催期間		時間	料金	申込開始
オリエンテーリング④ 「百合が原公園の秋」	10月1日(木)～10月18日(日)		9:00～16:30	無料	直接会場へ



平岡樹芸センター（みどりーむ）

☎ (011) 883-2891

<https://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

【園芸、庭作り教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
果樹の整枝・剪定	10月18日(日)	10:00～	300円	20名	申込受付中
フジ・ブドウの剪定	10月18日(日)	13:30～	300円	20名	
【あけび工房講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
あけびとふじづるのバスケット	10月18日(日)	10:30～	3000円	15名	10/11(日)～

※今後の情勢によっては、予定が変更となる場合があります。